

57 期の営業概況

第 57 期(平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日)の完成工事高 12.90 億円は前期 17.06 億円に比べて▲24.4%、営業利益は 209.6 百万円から、44.7 百万円へと▲78.7%の大幅な減収減益となりました。

ほぼ前 56 期の受注量(13.2 億円)に伴って想定されていたレベルとなっています。また、57 期の受注量も 13 億円程度となっており、58 期の業績見通しは楽観を許さない状況です。

売上に計上される収益金としては、本業以外に本年 2 月に開通した、自社の海津市太陽光発電事業による売電高が 8,440 万円あり、その他の収益と合わせて 13 億 7400 万円となりました。また、経常利益は 1 億 2,930 万円、純利益は 7,578 万円となり、会社全体としてはまずまずの決算結果となりました。

しかし、本業での業績が悪いことについては大きな不安要素として課題が残り、不採算部門のテコ入れと新規顧客等の掘り起こしが必須となっている状況です。

太陽光発電所の運営事業については、1.0 億円／年の売電収益が 20 年間に亘ってがあがるものと想定され、本業での不安定リスクを補う収益源としての役割を担うこととなりますが、あくまでも本業以外の余剰として考えるもので、過度な依存をしないような事業構築が必須です。

貸借対照表

平成29年10月31日現在

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	856,627	【流動負債】	152,500
現金預金	522,970	工事未払金	19,744
受取手形	39,870	未払金	818
完成工事未収入金	46,115	未払消費税等	32,524
未収入金	15,456	未成工事受入金	62,531
材料	1,545	預り金	2,295
未成工事支出金	213,184	未払法人税等	34,581
仮払金	622	仮受金	7
短期貸付金	17,454	負債合計	152,500
貸倒引当金	(△ 590)	純資産の部	
【固定資産】	937,602	【株主資本】	1,691,651
(有形固定資産)	(761,889)	(資本金)	(67,500)
建物	73,881	(資本剰余金)	(5,634)
構築物	55,699	資本準備金	5,634
機械装置	309,365	(利益剰余金)	(1,622,092)
車両運搬具	167	利益準備金	13,729
工具器具備品	12,009	その他利益剰余金	
リース投資資産	1,832	別途積立金	4,000
土地	308,937	繰越利益剰余金	1,604,363
(無形固定資産)	(9,120)	(自己株式)	(△ 3,575)
施設利用権	6,150		
電話加入権	2,057		
ソフトウェア	913		
(投資その他の資産)	(166,593)		
出資金	226		
投資有価証券	114,894		
差入保証金	2,403		
保険積立金	45,203		
長期前払費用	3,867		
【繰延資産】	49,923		
		純資産合計	1,691,651
資産合計	1,844,151	負債・純資産合計	1,844,151

損益計算書

自 平成28年11月1日

至 平成29年10月31日

(単位 千円)

【売上高】		
完 成 工 事 高	1,289,966	
合 計	1,289,966	1,289,966
【売上原価】		
完 成 工 事 原 価	1,042,376	
合 計	1,042,376	1,042,376
		247,590
売 上 総 利 益		
【販売費及び一般管理費】		202,938
営 業 利 益		44,652
【営業外収益】		
売 電 収 入 (海津太陽光発電所)	84,421	
受 取 利 息	5	
受 取 配 当 金	2,553	
雑 収 入	9,606	96,585
【営業外費用】		
減 価 償 却 費 (海津太陽光発電所設備)	17,306	17,306
		123,931
経 常 利 益		
【特別利益】		
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	140	140
		124,071
税 引 前 当 期 純 利 益		
法 人 税 等		48,287
当 期 純 利 益		75,784